

## 図書紹介

◎Site Management and Productivity in Tropical Plantation Forests : Proceedings of Workshops in Congo July 2001 and China February 2003. CIFOR, Bogor, Indonesia. (熱帯の人工林における立地管理と生産性 : 2001年6月コンゴおよび2003年2月中国国際ワークショップ発表論文集) E.K.S. Nambiar, J. Ranger, A. Tiarks and T. Toma 編 Center for International Forestry Research (CIFOR), Bogor, Indonesia 226 pp 2004年 ISBN : 979-3361-41-7

本書は熱帯の人工造林地において収穫に伴う土壌肥沃度の低下を防ぎつつ土地生産力を維持するための立地管理技術を開発することを目的として行われている国際ネットワーク研究の成果を取りまとめたものである。

熱帯地域では木材生産体制を確立するため商業造林が増加しているが、その多くは外来樹種を植栽して20年以下で収穫する短伐期施業である。その際多額の投資を必要とする集約的な土地利用により土壌条件が損なわれること無く土地生産力を維持できるか否かが問題となる。CIFORはこの問題に対処するため1995年に「熱帯の人工林における立地管理と生産性」に関するネットワーク研究を立ち上げた。CIFORが中核となってネットワークを運営し、自然条件、植栽樹種、土地生産力、経営計画、規模、植林目的等が異なる8ヶ国16試験地(10ヶ国25機関)が参加している。この研究プロジェクトはネットワークを生かして各地域の成果を情報交換(共有)することにより、短伐期林業の繰り返しは土壌や施業に与える影響を解明して、土地生産性を維持、向上させるための管理手法を開発することに止まらず、新たに発生する問題に対する各機関の対処能力の向上を目指している。

この研究プロジェクトは外務省使途指定研究「荒廃熱帯林生態系の修復プロジェクト」の一環として実施・運営されており、藤間剛氏(森林総研からの派遣職員)が進行管理している。氏を含む本書の編集者4名はプロジェクトの科学助言委員として参加研究機関を指導しており、本書は2001年7月コンゴおよび2003年2月中国で開催した国際ワークショップでの発表を編者らが指導してブラッシュアップしたものである。本書にはブラジル、コンゴ、南アフリカ、中国、インド、オーストラリア、インドネシア、ヴェトナム各国での成果とともに、プロジェクト成果の要約が所収されている。研究成果の一部はすでに国レベルあるいは地域レベルで植林地施業ガイドラインに反映されており、CIFORは設立以来10ヶ年の活動を振り返ってこの研究プロジェクトの成果を「特筆すべき成果」の一つと高く評価している。

本書は熱帯で植林に携わっておられる方々には是非ご一読を奨めたい一冊である。

なお、本書のPDF版は<http://www.cifor.cgiar.org>からダウンロードできる。また、この研究プロジェクトが1998年南アフリカ、1999年インドで開催したワークショップの発表論文もダウンロードできる。(森貞和仁)